

創立明治7年
開校147周年

令和3年度 紅梅小だより

赤塚っ子学びのエリア



紅梅

10月号

令和3年9月30日
板橋区立紅梅小学校
校長 小宮孝之

〇たぐましい子 〇よく考える子 〇思いやりのある子

あいさつの大切さ

生活指導主幹 下田 弘子

緊急事態宣言が解かれましたが、未だ収束しない新型コロナウイルスの影響でマスクをしていることが日常の中で必要不可欠となっています。マスクをしていると子供たちのかわいい顔は半分しか見ることができません。声を出しても、籠ってしまいいつも以上に声を大きくしないと聞き取ることもできません。朝の「おはようございます。」のあいさつは、自分が思っている以上にマスクの中の表情を大袈裟にして、声を大きくしないと相手に伝わりません。

「おはようございます。」の声。それに応える「おはようございます。」の声。この瞬間にお互いの気持ちが繋がります。たったひとりで、「今日もがんばろうね。」「元気だった。」などさまざまな思いが伝わります。あいさつの大切さは、誰もが分かっているはずですが、でも、なかなか声に出せないと感じている子供たちが多いと思います。マスクをしているせいで余計に伝わりにくくなっているようにも感じます。

あいさつは魔法の力

作詞:多湖 輝 作曲・編集:伯耆田 Hiromi

1 ちょっと勇気がいるけれど 思い切って声を出してみよう あいさつは魔法の力

朝は“おはよう”でいい気分 道で会ったら“こんにちは” ほらこんな風に

世界中に大きな声で おはよう“Good morning” こんにちは“Hello” ほらこんな風に

2 一人の勇気がみんなを変える 家族も友だちも学校も あいさつは魔法の力

お世話になったら“ありがとう”心をこめて 迷惑かけたら“ごめんなさい” ほらこんな風に

世界中に大きな声で ありがとう“Thank you” ごめんなさい“Excuse me” ほらこんな風に

一人一人の ちからが みんなを変える あいさつは 魔法の力 あいさつで このまち変えよう



「手のひらあいさつ運動」というあいさつ運動をしている小学校があるそうです。あいさつが大きな声でやりづらいため、お互いに手のひらを見せ合いあいさつをするそうです。

大きな声であいさつできることが一番ですが、このようにお互いの手のひらを見せ合いあいさつをするというあいさつの仕方もあるかもしれません。あいさつは、どんな方法であっても人の心を温かくする潤滑油です。子供たちのあいさつの経験が、学校中に、そして町全体に広がっていってくれることを願っています。